

平成24年7月31日
東京海上日動あんしん生命保険株式会社

「平成24年3月期 第3四半期決算のお知らせ」および
「平成24年3月期 決算のお知らせ」の一部訂正について

平成24年3月期 第3四半期末および平成24年3月期末の責任準備金残高について、算出過程での事務処理誤りにより金額がそれぞれ11億円過小となっていたことが判明しました。

このため、東京海上日動あんしん生命保険株式会社（社長 北沢 利文）は平成24年2月14日に公表しました「平成24年3月期 第3四半期決算のお知らせ」および平成24年5月18日に公表しました「平成24年3月期 決算のお知らせ」について、別紙のとおり訂正いたします。

ご関係の皆様にはご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

なお、正誤表の訂正箇所には下線を付しております。

また、ディスクロージャー資料「東京海上日動あんしん生命の現状2012」については8月下旬に発行いたします。

(添付資料)

- 「平成24年3月期 第3四半期決算のお知らせ」の一部訂正（正誤表）
- 「平成24年3月期 決算のお知らせ」の一部訂正（正誤表）
- 「平成24年3月期 第3四半期決算のお知らせ」（訂正反映済）
- 「平成24年3月期 決算のお知らせ」（訂正反映済）

以上

○「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算のお知らせ」の一部訂正

【表紙】

2. 損益の状況

(訂正前)

- ・ 3・4 行目 ～基礎利益は前年同期比 30 億円減益の 202 億円となりました。～
- ・ 7 行目 ～四半期純利益は前年同期比 70 億円減益の 43 億円となりました。～

(訂正後)

- ・ 3・4 行目 ～基礎利益は前年同期比 41 億円減益の 191 億円となりました。～
- ・ 7 行目 ～四半期純利益は前年同期比 77 億円減益の 36 億円となりました。～

3. 総資産の状況

(訂正前)

- ・ 1～3 行目 総資産は、保有契約の増加等により、前年度末から 834 億円増加し、3 兆 8,113 億円(前年度末比 102.2%) となりました。

(訂正後)

- ・ 1～3 行目 総資産は、保有契約の増加等により、前年度末から 838 億円増加し、3 兆 8,116 億円(前年度末比 102.2%) となりました。
※合わせて【図 3】総資産の推移のグラフも訂正しています。

4. 健全性の指標

(訂正前)

- ・ 1～3 行目 ～ソルベンシー・マージン比率は、3,287.5% (前年度末比+475.5 ポイント) と引き続き高い水準を確保しており、～
- ・ 9～11 行目 ～新基準を平成 23 年度第 3 四半期末に適用した場合のソルベンシー・マージン比率は 2,037.9% となり、～

(訂正後)

- ・ 1～3 行目 ～ソルベンシー・マージン比率は、3,277.9% (前年度末比+465.9 ポイント) と引き続き高い水準を確保しており、～
- ・ 9～11 行目 ～新基準を平成 23 年度第 3 四半期末に適用した場合のソルベンシー・マージン比率は 2,031.7% となり、～

【2 ページ】

2. 四半期貸借対照表

(訂正前)

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度末 (平成23年3月31日)		当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)		比較増減
		金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)			%		%	
<中略>						
有価証券		3,323,246	89.15	3,353,151	87.98	29,905
繰延税金資産		47,688	1.28	30,150	0.79	△17,537
<中略>						
資産の部合計		3,727,869	100.00	3,811,326	100.00	83,456
(負債の部)						
保険契約準備金		2,870,125	76.99	3,012,936	79.05	142,810
<中略>						
責任準備金		2,778,004		2,920,946		142,941
<中略>						
負債の部合計		3,633,417	97.47	3,688,594	96.78	55,176
(純資産の部)						
<中略>						
利益剰余金		754	0.02	5,154	0.14	4,399
その他利益剰余金		754		5,154		4,399
繰越利益剰余金		754		5,154		4,399
株主資本合計		90,754	2.43	95,154	2.50	4,399
<中略>						
純資産の部合計		94,451	2.53	122,731	3.22	28,280
負債及び純資産の部合計		3,727,869	100.00	3,811,326	100.00	83,456

(注) <中略>

2. 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産の計算に使用する法定実効税率36.1%は、平成24年4月1日から平成26年4月1日までに開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については33.3%、平成27年4月1日以後に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については30.7%となっております。この税率変更により、当第3四半期会計期間末において繰延税金資産は4,236百万円減少し、その他有価証券評価差額金は2,169百万円増加しております。また、四半期純利益は6,385百万円減少しております。

(訂正後)

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度末 (平成23年3月31日)		当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)		比較増減
		金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)			%		%	
<中略>						
有価証券		3,323,246	89.15	3,353,151	87.97	29,905
繰延税金資産		47,688	1.28	30,501	0.80	△17,186
資産の部合計		3,727,869	100.00	3,811,677	100.00	83,807
(負債の部)						
保険契約準備金		2,870,125	76.99	3,014,067	79.07	143,941
責任準備金		2,778,004		2,922,077		144,072
負債の部合計		3,633,417	97.47	3,689,725	96.80	56,308
(純資産の部)						
<中略>						
利益剰余金		754	0.02	4,373	0.11	3,619
その他利益剰余金		754		4,373		3,619
繰越利益剰余金		754		4,373		3,619
株主資本合計		90,754	2.43	94,373	2.48	3,619
<中略>						
純資産の部合計		94,451	2.53	121,951	3.20	27,499
負債及び純資産の部合計		3,727,869	100.00	3,811,677	100.00	83,807

(注) <中略>

2. 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産の計算に使用する法定実効税率36.1%は、平成24年4月1日から平成26年4月1日までに開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については33.3%、平成27年4月1日以後に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については30.7%となっております。

この税率変更により、当第3四半期会計期間末において繰延税金資産は4,294百万円減少し、その他有価証券評価差額金は2,169百万円増加しております。また、四半期純利益は6,443百万円減少しております。

【3 ページ】

3. 四半期損益計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	比較増減
	金 額	金 額	
<中 略>			
経 常 費 用	372,445	397,225	24,780
<中 略>			
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	108,698	142,941	34,243
責 任 準 備 金 繰 入 額	108,698	142,941	34,243
<中 略>			
経 常 利 益	29,087	22,372	△ 6,714
<中 略>			
税 引 前 四 半 期 純 利 益	18,226	17,171	△ 1,054
<中 略>			
法 人 税 等 調 整 額	475	7,409	6,933
法 人 税 等 合 計	6,818	12,772	5,953
四 半 期 純 利 益	11,407	4,399	△ 7,007

(訂正後)

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	比較増減
	金 額	金 額	
<中 略>			
経 常 費 用	372,445	398,356	25,911
<中 略>			
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	108,698	144,073	35,374
責 任 準 備 金 繰 入 額	108,698	144,072	35,374
<中 略>			
経 常 利 益	29,087	21,241	△ 7,845
<中 略>			
税 引 前 四 半 期 純 利 益	18,226	16,040	△ 2,185
<中 略>			
法 人 税 等 調 整 額	475	7,058	6,583
法 人 税 等 合 計	6,818	12,421	5,602
四 半 期 純 利 益	11,407	3,619	△ 7,788

【4 ページ】

経常利益等の明細（基礎利益）

（訂正前）

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	比較増減
基礎利益 A	23,319	20,277	<u>△ 3,041</u>
<中 略>			
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	29,579	22,756	<u>△ 6,822</u>
<中 略>			
臨時費用	491	387	<u>△ 104</u>
危険準備金繰入額	503	387	<u>△ 115</u>
<中 略>			
臨時損益 C	<u>△ 491</u>	<u>△ 383</u>	108
経常利益 A+B+C	29,087	22,372	<u>△ 6,714</u>

（訂正後）

（単位：百万円）

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	比較増減
基礎利益 A	23,319	19,147	<u>△ 4,171</u>
<中 略>			
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	29,579	21,626	<u>△ 7,953</u>
<中 略>			
臨時費用	491	388	<u>△ 103</u>
危険準備金繰入額	503	388	<u>△ 114</u>
<中 略>			
臨時損益 C	<u>△ 491</u>	<u>△ 384</u>	107
経常利益 A+B+C	29,087	21,241	<u>△ 7,845</u>

【6 ページ】

5. ソルベンシー・マージン比率

(訂正前)

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	343,053	389,527
資本金等	90,754	95,154
<中 略>		
危険準備金	24,759	25,147
<中 略>		
その他	76,403	80,408
リスクの合計額 (B)	24,399	23,697
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$		
<中 略>		
予定利率リスク相当額 (R ₂)	1,972	1,689
<中 略>		
ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100 (C)	2,812.0%	3,287.5%

(訂正後)

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	343,053	388,402
資本金等	90,754	94,373
<中 略>		
危険準備金	24,759	25,148
<中 略>		
その他	76,403	80,062
リスクの合計額 (B)	24,399	23,697
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$		
<中 略>		
予定利率リスク相当額 (R ₂)	1,972	1,690
<中 略>		
ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100 (C)	2,812.0%	3,277.9%

【6 ページ】

(参考1) 実質資産負債差額

(訂正前)

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	3,729,638	<u>3,914,770</u>
負債の部に計上されるべき金額の合計額 を基礎として計算した金額 (2)	3,390,783	<u>3,424,051</u>
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	338,855	<u>490,719</u>
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	1,769	103,444
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	337,085	<u>387,275</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	3,729,638	<u>3,915,121</u>
負債の部に計上されるべき金額の合計額 を基礎として計算した金額 (2)	3,390,783	<u>3,425,181</u>
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	338,855	<u>489,939</u>
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	1,769	103,444
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	337,085	<u>386,495</u>

【6 ページ】

(参考2) 当事業年度末(平成24年3月31日)から適用される新基準によるソルベンシー・マージン比率

(訂正前)

(単位：百万円)

項目	前事業年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	339,761	386,235
資本金等	90,754	95,154
<中 略>		
危険準備金	24,759	25,147
<中 略>		
その他	73,112	77,116
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	39,768	37,904
<中 略>		
予定利率リスク相当額 (R ₂)	7,295	6,080
<中 略>		
ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100 (C)	1,708.7%	2,037.9%

(訂正後)

(単位：百万円)

項目	前事業年度末 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	339,761	385,110
資本金等	90,754	94,373
<中 略>		
危険準備金	24,759	25,148
<中 略>		
その他	73,112	76,770
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$ (B)	39,768	37,908
<中 略>		
予定利率リスク相当額 (R ₂)	7,295	6,085
<中 略>		
ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100 (C)	1,708.7%	2,031.7%

○「平成24年3月期 決算のお知らせ」の一部訂正

【表紙】

2. 損益の状況

(訂正前)

- ・ 1～3行目 ～基礎利益は前年同期比 89 億円増益の 234 億円、当期純利益は前年同期比 15 億円増益の 68 億円となりました。～
- ・ 5・6行目 ～当期純利益は 134 億円となります。

(訂正後)

- ・ 1～3行目 ～基礎利益は前年同期比 78 億円増益の 222 億円、当期純利益は前年同期比 7 億円増益の 60 億円となりました。～
- ・ 5・6行目 ～当期純利益は 127 億円となります。

3. 総資産の状況

(訂正前)

- ・ 1～3行目 総資産は、保有契約の増加等により、前年度末から 1,549 億円増加し、3 兆 8,828 億円(前年度末比 104.2%) となりました。

(訂正後)

- ・ 1～3行目 総資産は、保有契約の増加等により、前年度末から 1,552 億円増加し、3 兆 8,831 億円(前年度末比 104.2%) となりました。

※合わせて【図3】総資産の推移のグラフも訂正しています。

4. 健全性の指標

(訂正前)

- ・ 1～3行目 ～ソルベンシー・マージン比率は、2,099.7% (前年度末比+391.0 ポイント) と引き続き高い水準を確保しており、～

(訂正後)

- ・ 1～3行目 ～ソルベンシー・マージン比率は、2,145.8% (前年度末比+437.1 ポイント) と引き続き高い水準を確保しており、～

【2 ページ】

2. 貸借対照表

(訂正前)

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度末 (平成23年3月31日)		当事業年度末 (平成24年3月31日)		比較増減
		金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)			%		%	
有価証券	<中略>	3,323,246	89.15	3,483,975	<u>89.73</u>	160,729
繰延税金資産	<中略>	47,688	1.28	<u>31,216</u>	<u>0.80</u>	<u>△ 16,471</u>
資産の部合計		3,727,869	100.00	<u>3,882,809</u>	100.00	<u>154,939</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度末 (平成23年3月31日)		当事業年度末 (平成24年3月31日)		比較増減
		金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)			%		%	
有価証券	<中略>	3,323,246	89.15	3,483,975	<u>89.72</u>	160,729
繰延税金資産	<中略>	47,688	1.28	<u>31,569</u>	<u>0.81</u>	<u>△ 16,119</u>
資産の部合計		3,727,869	100.00	<u>3,883,162</u>	100.00	<u>155,292</u>

【3 ページ】

2. 貸借対照表 (続き)

(訂正前)

(単位：百万円)

科目	期 別		前事業年度末 (平成23年3月31日)		当事業年度末 (平成24年3月31日)		比較増減
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
(負債の部)							
保険契約準備金	2,870,125	76.99	3,086,007	79.48	215,882		
＜中略＞							
責任準備金	2,778,004		2,990,432		212,427		
＜中略＞							
負債の部合計	3,633,417	97.47	3,758,380	96.80	124,962		
(純資産の部)							
＜中略＞							
利益剰余金	754	0.02	7,559	0.19	6,804		
その他利益剰余金	754		7,559		6,804		
繰越利益剰余金	754		7,559		6,804		
株主資本合計	90,754	2.43	97,559	2.51	6,804		
＜中略＞							
純資産の部合計	94,451	2.53	124,428	3.20	29,976		
負債及び純資産の部合計	3,727,869	100.00	3,882,809	100.00	154,939		

(注) <中略>

2. 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号) および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。
- これに伴い、繰延税金資産の計算に使用する法定実効税率は、平成24年4月1日から平成26年4月1日までに開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については33.3%、平成27年4月1日以後に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については30.7%となっております。
- この税率変更により、当事業年度末において繰延税金資産は4,565百万円減少し、その他有価証券評価差額金は2,160百万円増加しております。また、当期純利益は6,659百万円減少しております。

(訂正後)

(単位：百万円)

期 別 科 目	前事業年度末 (平成23年3月31日)		当事業年度末 (平成24年3月31日)		比較増減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
(負債の部)		%		%	
保 険 契 約 準 備 金	2,870,125	76.99	<u>3,087,146</u>	<u>79.50</u>	<u>217,021</u>
<中 略>					
責 任 準 備 金	2,778,004		<u>2,991,571</u>		<u>213,566</u>
<中 略>					
負 債 の 部 合 計	<u>3,633,417</u>	<u>97.47</u>	<u>3,759,519</u>	<u>96.82</u>	<u>126,102</u>
(純資産の部)					
<中 略>					
利 益 剰 余 金	754	0.02	<u>6,773</u>	<u>0.17</u>	<u>6,018</u>
そ の 他 利 益 剰 余 金	754		<u>6,773</u>		<u>6,018</u>
繰 越 利 益 剰 余 金	754		<u>6,773</u>		<u>6,018</u>
株 主 資 本 合 計	<u>90,754</u>	<u>2.43</u>	<u>96,773</u>	<u>2.49</u>	<u>6,018</u>
<中 略>					
純 資 産 の 部 合 計	<u>94,451</u>	<u>2.53</u>	<u>123,642</u>	<u>3.18</u>	<u>29,190</u>
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	<u>3,727,869</u>	<u>100.00</u>	<u>3,883,162</u>	<u>100.00</u>	<u>155,292</u>

(注) <中 略>

2. 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。
これに伴い、繰延税金資産の計算に使用する法定実効税率は、平成24年4月1日から平成26年4月1日までに開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については33.3%、平成27年4月1日以後に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については30.7%となっております。
この税率変更により、当事業年度末において繰延税金資産は4,624百万円減少し、その他有価証券評価差額金は2,160百万円増加しております。また、当期純利益は6,718百万円減少しております。

【4 ページ】

3. 損益計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)	比較増減
		金額	金額	
	<中略>			
経常費用		533,998	<u>552,396</u>	<u>18,398</u>
	<中略>			
責任準備金等繰入額		173,175	<u>213,757</u>	<u>40,581</u>
	<中略>			
責任準備金繰入額		171,426	<u>212,427</u>	<u>41,001</u>
	<中略>			
経常利益		19,404	<u>26,994</u>	<u>7,590</u>
	<中略>			
税引前当期純利益		8,694	<u>21,466</u>	<u>12,772</u>
	<中略>			
法人税等調整額		△ 5,433	<u>6,657</u>	<u>12,091</u>
法人税等合計		3,470	<u>14,661</u>	<u>11,191</u>
当期純利益		5,223	<u>6,804</u>	<u>1,581</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

科目	期別	前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)	比較増減
		金額	金額	
	<中略>			
経常費用		533,998	<u>553,535</u>	<u>19,537</u>
	<中略>			
責任準備金等繰入額		173,175	<u>214,896</u>	<u>41,721</u>
	<中略>			
責任準備金繰入額		171,426	<u>213,566</u>	<u>42,140</u>
	<中略>			
経常利益		19,404	<u>25,855</u>	<u>6,451</u>
	<中略>			
税引前当期純利益		8,694	<u>20,327</u>	<u>11,633</u>
	<中略>			
法人税等調整額		△ 5,433	<u>6,304</u>	<u>11,738</u>
法人税等合計		3,470	<u>14,309</u>	<u>10,838</u>
当期純利益		5,223	<u>6,018</u>	<u>794</u>

【5 ページ】

経常利益等の明細(基礎利益)

(訂正前)

(単位：百万円)

		前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)	比較増減
基礎利益	A	14,466	<u>23,420</u>	<u>8,954</u>
	<中 略>			
キャピタル損益含み基礎利益	A+B	19,868	<u>28,047</u>	<u>8,179</u>
	<中 略>			
臨時費用		464	<u>1,053</u>	588
危険準備金繰入額		445	<u>1,022</u>	<u>576</u>
	<中 略>			
臨時損益	C	△ 464	<u>△ 1,053</u>	<u>△ 588</u>
経常利益	A+B+C	19,404	<u>26,994</u>	<u>7,590</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

		前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)	当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)	比較増減
基礎利益	A	14,466	<u>22,286</u>	<u>7,819</u>
	<中 略>			
キャピタル損益含み基礎利益	A+B	19,868	<u>26,913</u>	<u>7,044</u>
	<中 略>			
臨時費用		464	<u>1,057</u>	593
危険準備金繰入額		445	<u>1,026</u>	<u>581</u>
	<中 略>			
臨時損益	C	△ 464	<u>△ 1,057</u>	<u>△ 593</u>
経常利益	A+B+C	19,404	<u>25,855</u>	<u>6,451</u>

【5 ページ】

4. 株主資本等変動計算書

(訂正前)

当事業年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) (単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他の利益剰余金					
当期首残高	55,000	35,000	754	90,754	6,587	△ 2,890	3,697	94,451
当期変動額								
当期純利益			6,804	6,804				6,804
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					21,136	2,035	23,172	23,172
当期変動額合計			6,804	6,804	21,136	2,035	23,172	29,976
当期末残高	55,000	35,000	7,559	97,559	27,723	△ 854	26,869	124,428

(訂正後)

当事業年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) (単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他の利益剰余金					
当期首残高	55,000	35,000	754	90,754	6,587	△ 2,890	3,697	94,451
当期変動額								
当期純利益			6,018	6,018				6,018
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					21,136	2,035	23,172	23,172
当期変動額合計			6,018	6,018	21,136	2,035	23,172	29,190
当期末残高	55,000	35,000	6,773	96,773	27,723	△ 854	26,869	123,642

【7 ページ】

6. 資産運用関係(一般勘定)

資産別運用利回り

(訂正前)

(単位：百万円、%)

区 分	前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)			当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)		
	収入金額	平均運用額	年利回り	収入金額	平均運用額	年利回り
<中 略>						
一 般 勘 定 計	44,059	3,562,536	1.24	63,860	3,751,459	1.70
<中 略>						

(訂正後)

(単位：百万円、%)

区 分	前事業年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日)			当事業年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日)		
	収入金額	平均運用額	年利回り	収入金額	平均運用額	年利回り
<中 略>						
一 般 勘 定 計	44,059	3,562,536	1.24	63,860	3,751,460	1.70
<中 略>						

【9 ページ】

7. ソルベンシー・マージン比率

(訂正前)

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成23年3月31日) 新基準	当事業年度末 (平成24年3月31日) 新基準	前事業年度末 (平成23年3月31日) 旧基準
ソルベンシー・マージン総額 (A)	339,761	385,420	343,053
資本金等	90,754	91,259	90,754
＜中 略＞			
危険準備金	24,759	25,782	24,759
＜中 略＞			
その他	73,112	74,470	76,403
リスクの合計額 (B)	39,768	36,711	24,399
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2 + R_4}$			
＜中 略＞			
予定利率リスク相当額 (R ₂)	7,295	6,056	1,972
＜中 略＞			
ソルベンシー・マージン比率 (C)	1,708.7%	2,099.7%	2,812.0%
$[(A)/(B) \times 1/2] \times 100$			

(訂正後)

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成23年3月31日) 新基準	当事業年度末 (平成24年3月31日) 新基準	前事業年度末 (平成23年3月31日) 旧基準
ソルベンシー・マージン総額 (A)	339,761	393,938	343,053
資本金等	90,754	96,773	90,754
＜中 略＞			
危険準備金	24,759	25,786	24,759
＜中 略＞			
その他	73,112	77,470	76,403
リスクの合計額 (B)	39,768	36,715	24,399
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2 + R_4}$			
＜中 略＞			
予定利率リスク相当額 (R ₂)	7,295	6,061	1,972
＜中 略＞			
ソルベンシー・マージン比率 (C)	1,708.7%	2,145.8%	2,812.0%
$[(A)/(B) \times 1/2] \times 100$			

【9 ページ】

(参考)実質資産負債差額

(訂正前)

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成23年3月31日)	当事業年度末 (平成24年3月31日)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	3,729,638	<u>3,980,695</u>
負債の部に計上されるべき金額の合計額 を基礎として計算した金額 (2)	3,390,783	<u>3,488,385</u>
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	338,855	<u>492,310</u>
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	1,769	97,886
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	337,085	<u>394,424</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

項 目	前事業年度末 (平成23年3月31日)	当事業年度末 (平成24年3月31日)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	3,729,638	<u>3,981,048</u>
負債の部に計上されるべき金額の合計額 を基礎として計算した金額 (2)	3,390,783	<u>3,489,519</u>
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	338,855	<u>491,528</u>
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	1,769	97,886
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	337,085	<u>393,642</u>